

令和5年度京丹後市職員採用

～副業ができ、地方公務員としての新しい働き方～

任期付短時間勤務職員『ふるさと創生職員』1名を11月1日に採用

令和5年10月30日

京丹後市役所

ポストコロナ時代の地方創生が求められる中、京丹後市に帰ってきたい、あるいは地方での暮らしと仕事をしたいと考えている方々の受け皿として、制度開始から4年目を迎えた今年度においても3年間の任期付短時間勤務職員の「ふるさと創生職員」を採用します。

この度、今年度1人目となる「ふるさと創生職員」の辞令交付を以下のとおり行いますので、お知らせします。

<採用者・業務分野等（令和5年11月1日付）>

氏名	年齢	現住所	配置部署	主な業務分野
いしかわ あきひろ 石川 晃浩	54 歳	神奈川県 藤沢市	市長公室地域コミュニティ 推進課	ふるさと納税を活用した地域 づくり3.0プロジェクト

<辞令交付>

- 日時 令和5年11月1日（水）午前8時30分～
- 場所 京丹後市役所 2階 市長応接室
- 交付者 中西副市長、濱副市長

<その他>

※令和5年度は、今後、さらに2名の採用を予定しています。

※現在のふるさと創生職員数は、12名です。

（令和2年度採用：1名、令和3年度採用：6名、令和4年度採用：5名）

<お問合せ先>

京丹後市市長公室人事課（電話 0772-69-0150）

〈ふるさと創生職員〉

任期付短時間勤務職員

－令和5年11月1日付け採用－

- 氏名（年齢） いしかわ あきひろ 石川 晃浩（54歳）
- 現住所 神奈川県藤沢市
- 配置部署 市長公室地域コミュニティ推進課
- 勤務日数 週4日勤務
- 任期 3年間（令和5年11月1日～令和8年10月31日）

○主な業務分野

『ふるさと納税を活用した地域づくり3.0プロジェクト』

○業務内容

地域の「やりたい」に共感した寄付者に対して、地域への訪問及び自然体の暮らし体験や住民との交流を促すことを通して、地域ファンの拡大を目指す「地域づくり3.0プロジェクト」を推進する。

○職務経歴

大学卒業後、都内の新聞社に勤務し現在に至る。

○ふるさと創生職員に応募した理由等

前職時代の2011年に「GS世代研究会」に幹事会社で参画した際、自治体で参画していた京丹後市を知ったことがきっかけ。その後も市と度々接する機会を得たことで、市のコンテンツや魅力、ポテンシャルの高さを知るようになったが、私の実感として、これらに見合う収入が得られていないのではないかと感じていた。

これまでの職務の中で複数の自治体と実施したイベント事業や観光PR事業などのプロモーション経験を存分に生かし、市の観光コンテンツや地域資源を新たに市外へ発信するアイデアを具現化し、市の増収と市民生活の質（QOL=Quality of life）の向上を念頭に置いて職務を遂行するふるさと創生職員になりたいと考えている。

○その他

ふるさと創生職員の任期満了後は、私が持つ広告・広報によるプロモーションの提案経験や豊富な人脈を活かし、特に市外へ向けて事業展開されている市内企業を対象にしたコンサル業務、市の魅力発信による企業・人の誘致、また、市の知名度向上のためのマーケティング活動にも、継続的に関わっていきたい。